

(様式2(1))

事業所名 グループホーム さくら新宮

作成日: 平成 30 年 10 月 25 日

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	6	建物の構造上居室や玄関に施錠している。 開錠する事を前提に検討が必要。	施設全体の施錠を開錠できる。	○身体拘束勉強会・委員会において、施錠の問題点や開錠に向けて検討 ○夜間の居室サッシの施錠を中止する。 ○各階時間を決め、短時間ずつ開錠。(10:00～14:00) ○統計を取り、時間を変更するなど行い、開錠時間を増やす。 ○玄関自動ドアについても時間を決めて開錠(自動でなく手動に切り替える)	12ヶ月
2	1	理念とはどういうものかに始まり、自分たちが実際に介護していくうえでの指針・ポリシーのような物が職員間で共通認識できておらず、自分たちの物として受け止められていない。	施設独自の介護理念を作り上げる。	○職員に対し「あなたの思う介護理念」の名でアンケートを実施 ○集計結果等をフロア会議で発表し検討 ※理念とはどういったものであるか等についてはフロア会議や実際の介護現場で伝えていく。 ○自分たちの理念をひとつ掲げる。	24ヶ月
3					
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。